

公益財団法人 8020 推進財団

平成 29 年度 歯科保健活動交付事業報告書抄録

1、事業名：通所介護サービス通所者を対象とした包括的な地域歯科保健の取り組み

2、申請者名：公益社団法人富岡甘楽歯科医師会 会長 萩原吉則

3、実施組織：公益社団法人富岡甘楽歯科医師会、甘楽町、甘楽町社会福祉協議会

4、事業の概要

①ディサービス利用者への歯科健康診査の実施

②歯科健康診査後の個別的歯科保健指導、集団を対象とした歯科保健指導の実施

③実践的な職員研修の実施

5、事業の内容：

①ディサービス利用者への歯科健康診査の実施

ディサービス利用者に対して、歯科健康診査の希望を聞き、希望者にのみ歯科健康診査を実施した。3施設で合計 89 名であった。口腔内状況、義歯の有無、適合・不適合、受診の要・不要等の項目に加え前もって、対象者の情報として歯や口の状態・歯みがきの状況・食形態・既往歴等を審査票に記入してもらった。

②-1 歯科健康診査後の個別的歯科保健指導

歯科健康診査で、口腔内状況の改善が必要と診断された対象者は、3施設で 59 名・66.3%と想像以上であった。サービスの利用時、昼食後の口腔清掃の際、歯科衛生士が個別に歯科保健指導を実施し、必要な場合は施設職員に介助等の依頼をした。

②-2 集団を対象とした歯科保健指導

甘楽町社会福祉協議会が実施している、「ミニディサービス」という老人教室において、歯と口の健康や口腔機能の維持向上等について集団を対象とした講話を実施した。

③実践的な職員研修

職員研修事業についても、①と同様に施設に希望を取り実施した。2施設から希望があり、参加した職員は、施設責任者・看護師・介護支援専門員・介護職等 26 名であった。より実践的な内容を主軸とし、その施設の健診結果をグラフ等で提示した。今回は、高齢者のう蝕の特長である「根面カリエス」と誤嚥性肺炎や口臭の予防のための「舌苔」の除去等をポイントとし、相互実習を実施した。

6、実施後の評価（今後の課題）

今年度は、事業の実施を甘楽町の3施設に限定したが、次年度は、範囲を拡大して同様のサービスを実施し、定期的な歯科医院での口腔内管理と専門的な歯科保健指導の実施を定着させていきたい。今回の対象者の平均年齢が 86.8 歳と高齢であり、全身的な機能低下も見られ、口腔内状況については、問題とする所が多くあった。特に歯科受診については、環境的な制約が多いことが解った。歯科医院への受診だけでなく、訪問診療等の照会や実施が不可欠であると感じた。数ヵ月後に、この事業の評価の一部として、歯科医院を受診した者の数を確認する予定である。施設職員の研修では、相互実習が好評であり、今後も日常の業務に役立つ実践的な研修会を継続していきたい。